



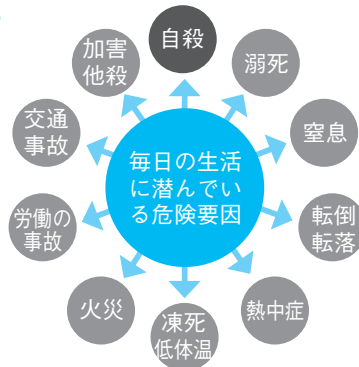
8月は「十和田市いのちを守る運動月間」

市内では、自殺や死亡事故により年間60人もの尊い命が失われています。そこで、市は8月1日から31日までの1カ月間を「十和田市いのちを守る運動月間」として定め、事故死予防を呼び掛けています。

家庭や職場、地域で声を掛け合い、みんなで死亡事故を防ぎましょう。

■自殺や死亡事故を防ぐ8つのポイント

- ①心身の疲労回復や体調管理に努め、心と体の健康を保ちましょう。
- ②眠れないほどの心配ごとがあるときは、周りの人や関係機関に相談しましょう。
- ③溺れる恐れのある深い川や用水路には、むやみに近づかないようにしましょう。
- ④外での遊びや作業時は、こまめに水分補給を行い、熱中症対策に備えましょう。
- ⑤脚立やはしごなどを使い、高い所で作業するときは、無理な動作を控えましょう。
- ⑥家の中や外で火を扱うときは、十分に気を付けましょう。
- ⑦車やバイクを運転するときは、交通マナーを心がけ、歩行者優先の意識を持ちましょう。
- ⑧夜間に歩くとときは、反射材を身に付けましょう。



まずはご相談ください
 悩みごとはひとりで抱え込まず、誰かに相談しましょう。相談先は下記のほか、十和田市相談窓口ガイドブックををご覧ください。公共施設に設置または市ホームページでもご覧になれます。



■無料相談先

内容	相談先	電話番号・時間
こころの相談	(特)あもりいのちの電話	☎0172-33-7830 正午～午後9時
労働条件	青森労働局総務部 十和田総合労働相談コーナー	☎232780 平日：午前9時～午後5時15分
暴力	青森県女性相談所 緊急DVホットライン	☎0120-87-3081 24時間対応
虐待・いじめ	七戸児童相談所 子ども虐待ホットライン	☎0120-78-6552 24時間対応
犯罪被害	青森県警察本部警察安全相談室	☎017-735-9110 24時間対応

とわだの文化財 3 ～十和田市の文化財を紹介するコーナーです

間生涯学習課 ☎22313

カヤ人形

悪疫災害を防ぐための呪法や行事は全国各地で見られる。板ノ沢集落や梅集落のカヤ人形作りもそうした習俗の一つ。この地区のカヤ人形は、その規模などから、県内外でも特異なものようである。



板ノ沢集落のカヤ人形



梅集落のカヤ人形

板ノ沢の西南、鎮守の杜入り口近くに男女一対のカヤ人形が立てられている。これは、例年「海の日」（元来は旧暦六月二十四日）に集落の人々が集まり、上地区は女、下地区は男の人形を作りここに運んで立てているものである。また、女性や子どもたちが作る小型人形も、大型人形のまわりにたくさん置かれていた。古くなった前年の人形は焼却される。

梅のカヤ人形も基本的には板ノ沢のものと同じであるが、丁髷を結ったり、紋章を書き入れたり、より伝統が維持されているようにも見える。戸数が少ない関係からか、梅には小型の人形はないが、ソバの串餅を人形に刺して供え、御神酒後に、串餅を食べるしきたりがある。その意味するところは明らかでない。

カヤ人形作りの起源や由来は定かではないが、人形には悪霊や病災から集落を守ることや、安産祈願・子孫繁栄などの願いが込められていると考えられている。

なお、形態が不明であるが、市内では深持、晴山、五十貫田、藤坂、滝沢、万内などで広く人形作りが行われていたようである。

上北地方では、旧天間林村や東北町の一部に、小規模ながら人形作りの風習が残っている。

(文責：市文化財保護協会)